

第2回 笠間市立小中学校学区審議会 次第

日時：平成29年1月31日（火）午後7時から

場所：笠間市役所 教育棟2階 2－1会議室

1. 開 会
2. 委嘱状の交付
3. あいさつ
4. 議 事
 - (1) 前回審議会の内容について
 - (2) 学区の見直しについて
5. その他
 - (1) 次回審議会の日程について
6. 閉 会

笠間市立小中学校学区審議会委員名簿

氏 名	役職等
会長 大月 光司	元岩瀬日本大学高校校長
副会長 井川 省史	笠間市 P T A 連絡協議会会長 稲田小学校 P T A 会長
石田 安夫	市議会議員 教育福祉委員会委員長
大津 廣司	区長会会長 85 区長
鶴田 浩一	区長会副会長 仲町区長
川崎 幸良	区長会副会長 旭町西区長
森田 正男	校長会会長 友部第二小学校校長
木村 友明	校長会副会長 友部中学校長
市毛 正明	校長会副会長 南中学校長
鈴木 秀和	笠間市 P T A 連絡協議会副会長 南中学校 P T A 会長
岡村 雅樹	笠間市 P T A 連絡協議会副会長 岩間中学校 P T A 会長
菅野 浩一	笠間市 P T A 連絡協議会副会長 友部第二小学校 P T A 会長
根岸 忠宏	笠間小学校 P T A 会長
安見 貴志	南小学校 P T A 会長
久野 正博	笠間中学校 P T A 会長

笠間市立南小・南中学校の学区の見直しについて

1. 前回審議会での主な意見

- ・ 距離的条件を踏まえ学区の審議をすべき
- ・ 南小を卒業した子どもたちが南中へ進むことが望ましいと考える。
- ・ 変則的な学区編成であるが故に、今の南小学校の小規模化を招いたのではないか。
- ・ 学区を変更しないとなった場合、一貫教育をしている最中に笠間中学校区の指定校通知が来ることになり、一貫教育の矛盾が生じるのではないか。
- ・ 芸術の村と呼ばれる地区の現在の通学状況はどのようになっているか。議論をするためのデータが必要。
- ・ 学区を「変更しない」という選択肢は、南小・南中がなくなる不安要素となる。不安要素を取り除き、新しいことを進めたい。歴史的背景や行政区の問題もあるが、理想は学区の統一化である。
- ・ 南小、南中学区のことを知らない人が、現在の学区編成を見たらおかしいと感じるはずである。事実、南中学校の目の前から笠間中学区という現状がある。
- ・ 歴史的なこととしては、旧校舎の消失により、学区の境界線がある場所に学校が移動した経緯があり、学区の分かりにくさを招いている。
- ・ 地元の意見ということで、反対意見が予想されるのが来栖地区。過去に不幸があったから絶対不可侵というのは違うと考える。時代に合わせて変えていかなければならないのでは。
- ・ 現在の学区を編成した当時の判断が正しかったかという点、現在の小規模化を招いたことを考えると、必ずしも正しかったとは言えない。歴史的経緯を言う人もいるが、この機会を見逃したら今後見直す機会はない。地元の意見を吸い上げながらとすると、学区変更は難しいところがある。

2. 現在の学区の状況（資料2）

現在、南小・南中学校の学区は、「南小・南中学区」と「南小・笠間中学区」の一つの小学校区に対し2つの中学校区がある。

3. 「今後の特色ある学校づくり検討会」等での学区についての意見及び学区審議会での方向性

義務教育学校となった場合、小中9年間の一貫教育となるため、今後の学区についてどのようにしていくべきか「南小・南中学校の今後の特色ある学校づくり検討会」等で検討を重ねた結果、次の4つの意見が挙げられた。

第1回学区審議会における審議の結果、検討会で意見のあった4つの中から答申への方向性を決定していくこととした。

- ①南小・笠間中学区を南小・南中学区に統一
- ②調整区域制（来栖, 手越の笠間中学区は南中・笠間中のどちらかを選択する）
- ③笠間駅南側の下市毛南部を笠間小・笠間中学区から南小・南中学区に変更
- ④変更しない（現在の南小・南中学区のまま）

4. 学区の見直しについて

（１）行政区について（資料３）

来栖地区

- ８０区 （上郷）
- ８１区 （中郷），
- ８２区 （下郷），
- ８２－１区（県営笠間住宅・アパート）

手越地区

８５区

下市毛地区

- １５区 （下市毛南部・ＪＲ水戸線南側）
- １５－１区（逆川，堂の越，並木の一部）
- １６区 （下市毛北部・ＪＲ水戸線北側）

（２）地区ごとの通学人数，就学予定人数について（資料４）

来栖地区

来栖地区は，南小，笠間中学区である。小学生５６人中４６人が南小学校に通学し，中学生３９人中１５人が南中学校に通学している。

来栖下郷地区には，県営笠間住宅・アパートがあり，来栖地区小学生５６人中２５人約４５％，来栖地区中学生３９人中１８人，約４６％が居住している。

手越地区

手越地区は，南小，笠間中学区である。小学生９人中８人が南小学校に通学し，中学生は２人いるが，２人共，南中学校に通学している。

下市毛地区

下市毛地区は，笠間小，笠間中学区であるが，市営下市毛住宅のみ南小，南中学区となっている。笠間小学区の小学生７４人中１４人が南小学校に通学し，笠間中学区の中学生６０人中６人が南中学校に通学している。

市営下市毛住宅に居住する小学生１１人中１０人が南小学校に通学し，中学生４人全員が南中学校に通学している。

表1

各地区別 児童生徒通学状況

(平成29年1月現在)

来栖地区

南小学区 ⇒ 南小に通学

小1	10人	／	10人中
小2	5人	／	8人中
小3	10人	／	11人中
小4	5人	／	7人中
小5	12人	／	15人中
小6	4人	／	5人中
合計	46人	／	56人中

笠間中学区 ⇒ 南中に進学

中1	1人	／	10人中
中2	7人	／	13人中
中3	7人	／	16人中
合計	15人	／	39人中

手越地区

南小学区 ⇒ 南小に通学

小1	3人	／	4人中
小2	0人	／	0人中
小3	1人	／	1人中
小4	2人	／	2人中
小5	0人	／	0人中
小6	2人	／	2人中
合計	8人	／	9人中

笠間中学区 ⇒ 南中に進学

中1	0人	／	0人中
中2	1人	／	1人中
中3	1人	／	1人中
合計	2人	／	2人中

下市毛地区

笠間小学区 ⇒ 南小に通学

小1	1人	／	6人中
小2	0人	／	10人中
小3	3人	／	13人中
小4	5人	／	16人中
小5	4人	／	18人中
小6	1人	／	11人中
合計	14人	／	74人中

笠間中学区 ⇒ 南中に進学

中1	1人	／	25人中
中2	5人	／	17人中
中3	0人	／	18人中
合計	6人	／	60人中

県営笠間住宅・アパート

南小学区 ⇒ 南小に通学

小1	4人	／	4人中
小2	3人	／	4人中
小3	2人	／	3人中
小4	3人	／	3人中
小5	7人	／	8人中
小6	2人	／	3人中
合計	21人	／	25人中

笠間中学区 ⇒ 南中に進学

中1	0人	／	2人中
中2	6人	／	8人中
中3	4人	／	8人中
合計	10人	／	18人中

市営下市毛住宅

南小学区 ⇒ 南小に通学

小1	1人	／	1人中
小2	2人	／	2人中
小3	2人	／	2人中
小4	2人	／	2人中
小5	3人	／	4人中
小6	0人	／	0人中
合計	10人	／	11人中

南中学区 ⇒ 南中に進学

中1	3人	／	3人中
中2	0人	／	0人中
中3	1人	／	1人中
合計	4人	／	4人中

地区別・入学年度別統計

表2

各行政区別児童数

住民情報：平成28年4月30日
年齢基準日：平成28年4月1日

地区名	行政区	区域	H29年度 入学 (5歳)	H30年度 入学 (4歳)	H31年度 入学 (3歳)	H32年度 入学 (2歳)	H33年度 入学 (1歳)	H34年度 入学 (0歳)	合計
来栖	80区	来栖（上郷）	8	1	4	4	0	6	23
	81区	来栖（中郷）	1	1	0	2	0	0	4
	82区	来栖（下郷）	3	2	4	1	2	0	12
	82-1区	県営笠間住宅・アパート	4	3	6	3	1	3	20
	計		16	7	14	10	3	9	59
手越	85区	手越	3	4	0	2	3	1	13
	計		3	4	0	2	3	1	13
下市毛	15区	下市毛南部 (うち市営下市毛住宅)	12 (1)	9 (0)	2 (0)	7 (0)	7 (0)	3 (0)	40 (1)
	計		12	9	2	7	7	3	40

表3

南小学校学区児童数

地区名	H29年度 入学 (5歳)	H30年度 入学 (4歳)	H31年度 入学 (3歳)	H32年度 入学 (2歳)	H33年度 入学 (1歳)	H34年度 入学 (0歳)	合計
来栖(80区, 81区, 82区, 82-1区)	16	7	14	10	3	9	59
手越(85区)	3	4	0	2	3	1	13
下市毛(市営下市毛住宅)	1	0	0	0	0	0	1
北吉原(83区)	0	1	1	2	0	3	7
南吉原(84区)	3	3	2	1	2	1	12
上加賀田(86区)	2	2	2	3	5	4	18
本戸(75区, 76-1区)	0	1	3	1	0	2	7
計	25	18	22	19	13	20	117

表4

南小学区に下市毛南部(15区)を加えた場合

地区名	H29年度 入学 (5歳)	H30年度 入学 (4歳)	H31年度 入学 (3歳)	H32年度 入学 (2歳)	H33年度 入学 (1歳)	H34年度 入学 (0歳)	合計
南小学区 合計数	25	18	22	19	13	20	117
下市毛南部(15区) 【下市毛住宅(南小学区)を除く】	11	9	2	7	7	3	39
合計	36	27	24	26	20	23	156

(3) 距離的条件・地理的条件について(資料5)

来栖地区

学校からの直線距離では、80区(上郷)は南小学校・南中学校と笠間小学校・中学校の約中間地点、81区(中郷)、82区(下郷)、82-1区(県営笠間住宅・アパート)は南小・南中学校の方が近い。

県営笠間住宅・アパートまでの距離は、南小学校、南中学校からは約500m、笠間小学校、笠間中学校からは約2.5kmである。

手越地区

南小学校・南中学校からは、1.5km～2.5km圏内。笠間小学校・中学校からは2km～3km圏内である。

下市毛地区

15-1区(逆川、堂の越、並木の一部)、16区(下市毛北部・JR水戸線北側)までの距離は笠間小学校・笠間中学校の方が近い。

15区(下市毛南部・JR水戸線南側)は、南小学校・南中学校からは、500m～1.5km圏内。笠間小学校・中学校からは1km～2.5km圏内である。

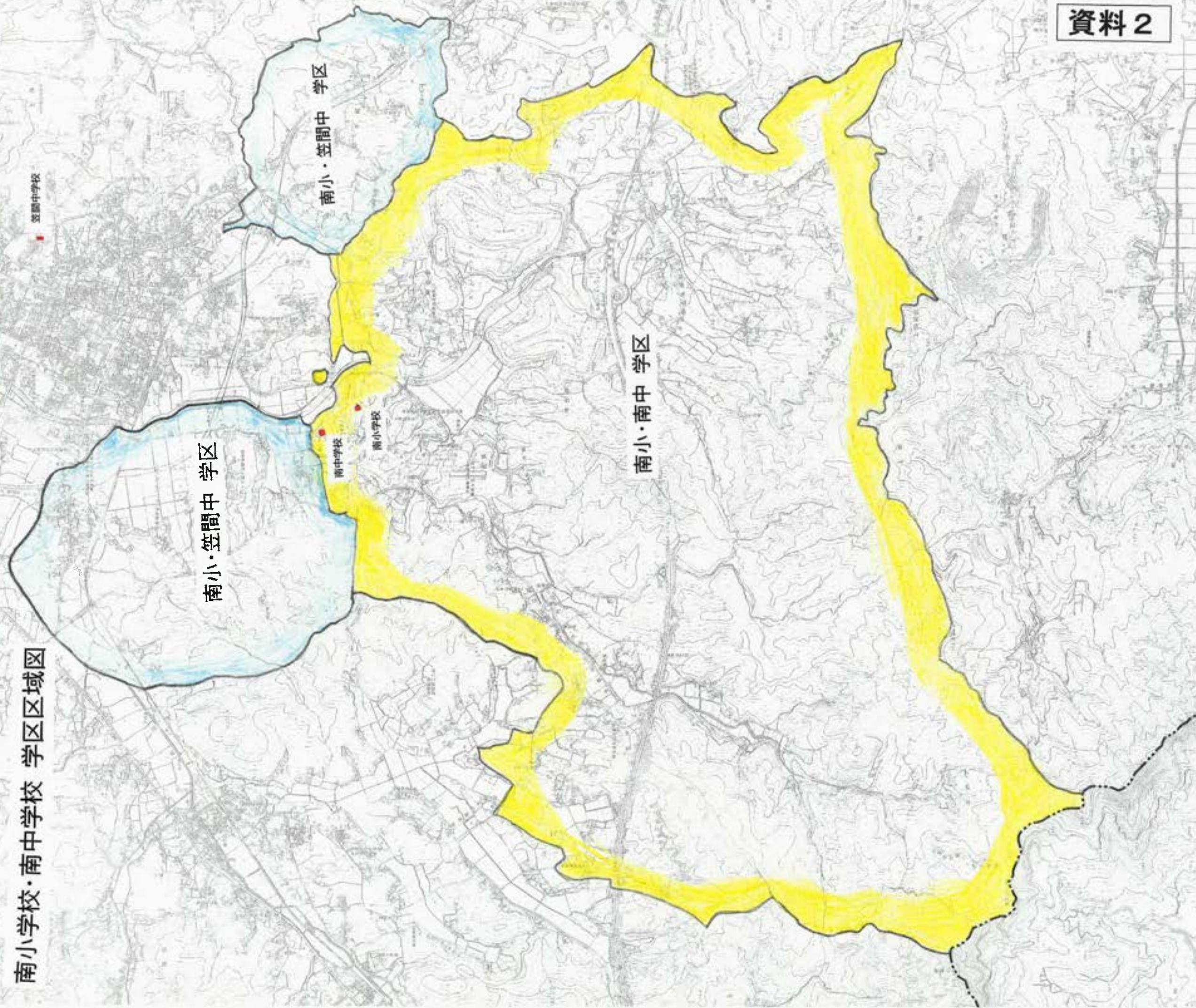
国道355号笠間バイパス開通後の状況では、15区(下市毛南部・JR水戸線南側)のうち、国道355号バイパス北部が、南小学校・南中学校と笠間小学校・中学校の約中間地点。国道355号バイパス南部は、南小学校・南中学校からは、500m～1km圏内。笠間小学校・中学校からは1.5km～2.5km圏内である。

5. 次回審議会の日程について

平成29年2月下旬

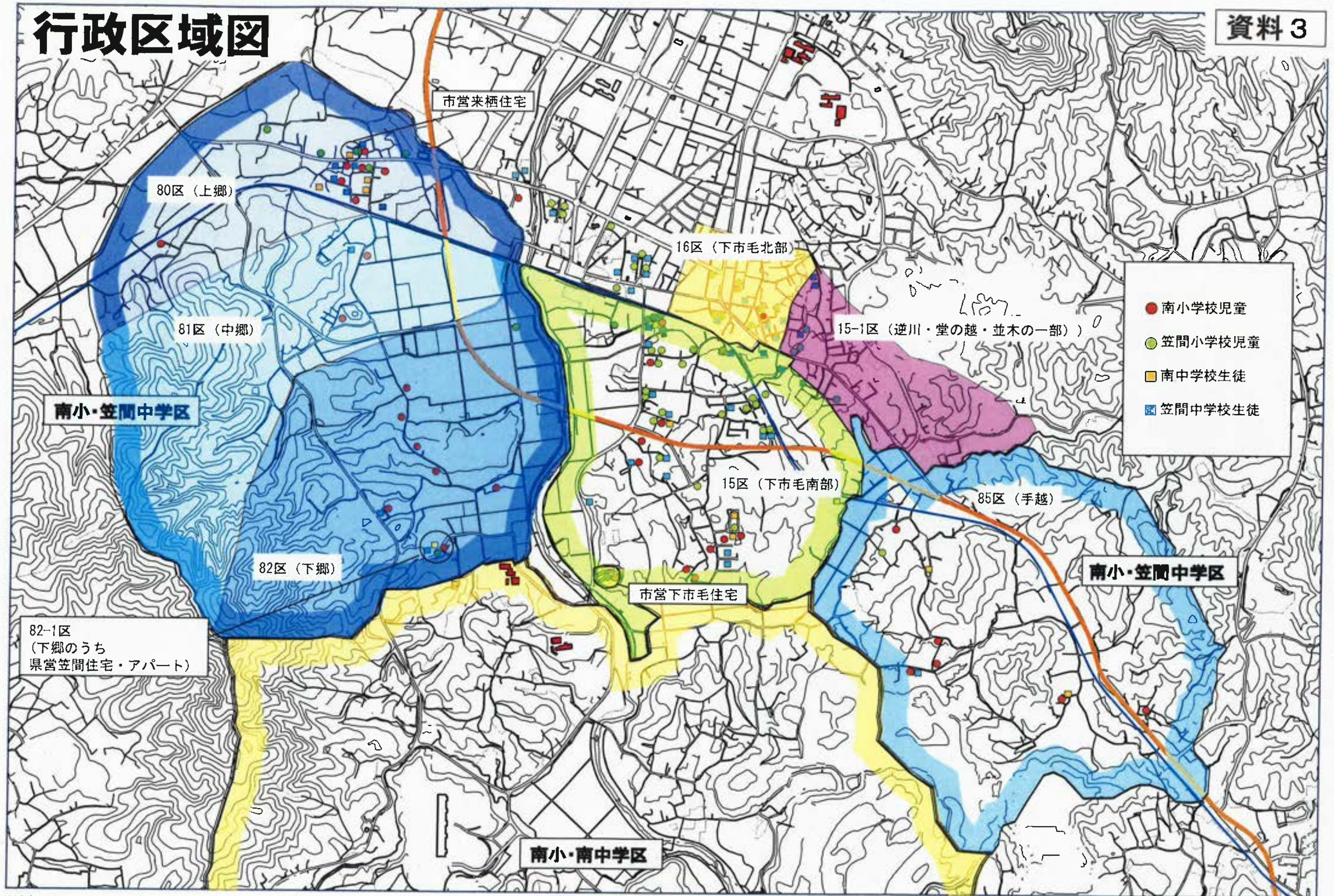
笠間市役所本所 教育棟会議室

南小学校・南中学校 学区区域図



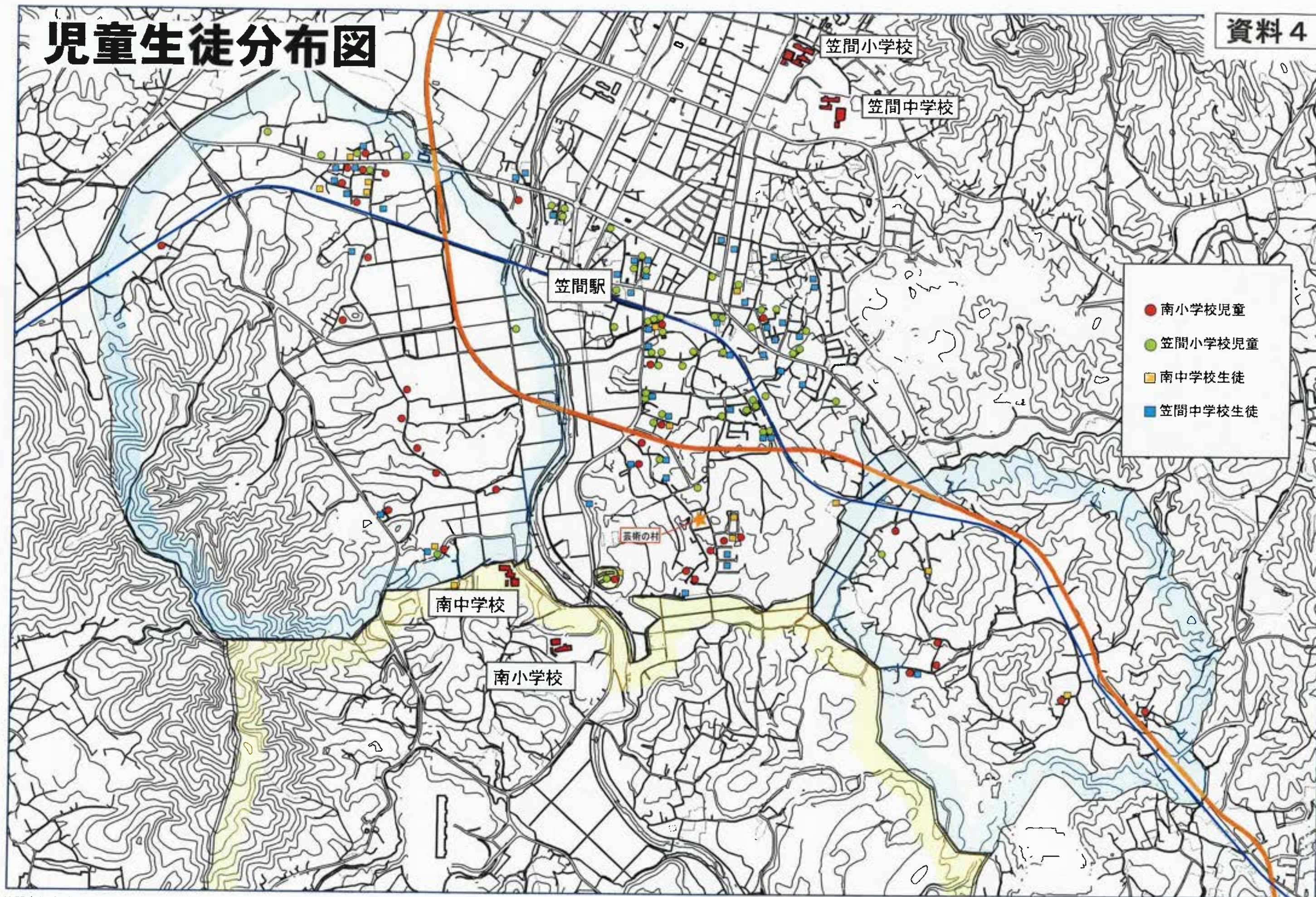
行政区域図

資料 3



児童生徒分布図

資料 4



通学距離図

資料 5

